

東北ハイテク研究会セミナー

スマート農業技術はどこまで草刈り労働の労苦を軽減できるか – その開発の現状と課題 –



傾斜40度の法面でも大丈夫



*写真は、(株)一関山本農場、農研機構 西日本農業研究センター、(株)クボタ 提供

セミナー開催のねらい

スマート農業技術の開発は目覚ましく、21世紀農業のイノベーションを支え、多くの農業者の皆様から大きな期待を寄せられています。今後の日本農業の構造変化と新たな担い手の育成にとってスマート農業技術の開発は不可欠の要件となっています。しかし、目覚ましいスマート農業技術の開発と社会実装が進む一方で、スマート農業技術の開発が難しい農作業が多くあることも事実です。その代表が、農道や畦畔の草刈りです。稲作では田植えが終わると共に農道や畦畔の草刈りが始まり、夏の炎天下で草刈り労働に追われます。草刈り労働の軽減は水田作の最大の課題であるといっても過言ではありません。特に急傾斜な畦畔が多い中山間地では、農作業事故の懸念も大きなものがあります。

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会は、農林水産省の支援を受けて東北地域における産学連携活動を支援する組織として30年以上活動を展開してまいりました。この度、水田作における草刈り労働を軽減するために開発されているスマート草刈り技術の開発現状を紹介するとともに、大規模農家の草刈り労働の実態と技術開発に対する現場ニーズを明らかにするためのセミナー「スマート農業技術はどこまで草刈り労働の労苦を軽減できるかーその開発の現状と課題ー」をOnlineで開催します。多くの皆様の参加をお待ちしております。

開催日等

日時：令和6年9月19日（木） 13：15～15：40

開催場所：オンライン（Zoom（ウェビナー）を使用）

参集範囲：農業生産者、農業関係団体、行政機関、試験研究機関、民間企業など

参加費：無料

主催：東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

セミナーの内容

- 主催者挨拶とセミナーの趣旨説明 東北ハイテク研究会 門間 敏幸 13:15~13:20
- 1) スマート草刈り技術の開発状況と普及課題 13:20~13:50
農研機構 西日本農業研究センター 中山間営農研究領域
生産環境・育種グループ 主任研究員 菊地 麗 氏
- 2) 畦畔・農道などに対応できる草刈り機のご紹介 13:50~14:10
株式会社クボタ 機械事業本部 農機国内営業本部
農業ソリューション営業部 企画マーケティング課 渡海谷 保 氏
- 3) 西部開発農産における畦畔・農道の草刈りの現状と
今後求められる自動化技術 14:10~14:40
株式会社 西部開発農産 生産部長 清水 一孝 氏
- 4) 金田一営農組合の畦畔・農道の草刈りの実態と自動化技術への期待 14:40~15:10
農事組合法人 金田一営農組合 組合長 五日市 亮一 氏
- 質疑討論 (司会: 東北ハイテク研究会 門間 敏幸) 15:10~15:40

申込方法等

・当日までに、下記の申込フォーム (URL) からお申し込みください。

URL : https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_mZDtIPjMTvix-3k5Dp2mUw

問い合わせ先

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局 (藤井)

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター内

TEL : 080-2806-9926 FAX : 019-641-7794

E-mail : tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp (ご使用時は、@を1ヶ削除願います)

・本講演会は、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われるものです。